

経営比較分析表（令和4年度決算）

岐阜県恵那市 市立恵那病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	21	対象	ド訓	救へ輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
47,564	30,063	-	第2種該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
199	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	199
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
137	-	137

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【】	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	平成15 年度

I 地域において担っている役割

○へき地における医療の提供へき地医療拠点病院として、市内の公立診療所への医師等の派遣。
 ○救急医療の提供重症患者の救急搬送受入。休日及び夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受入。
 ○周産期医療の提供恵那市で唯一の出産可能な医療機関。
 ○小児医療の提供恵那市で唯一の小児の入院機能を有する専門医療機関。
 ○地域医療を担う人材育成臨床研修医協力施設として研修医、看護学生、医療技術学生の研修受入指導の実施。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率・医療収支比率平成28年度の新病院完成に伴い、固定資産の減価償却費が大幅に増え、費用が増加したために経常収支比率、医療収支比率は類似病院平均値を下回っています。
 ○病床利用率平均在院日数の短縮及び新型コロナウイルスに対する入院抑制の継続により、低い数値で推移しています。
 ○職員給与費、材料費対医療収益比率職員給与費・薬品など材料費の占める割合は、新型コロナウイルス感染症による入院・外来患者の受診抑制により医療収益が減ったことで給与比率が上がり、材料費比率は類似病院平均値を下回っているため、引き続き適正な薬品等の購入に努めます。

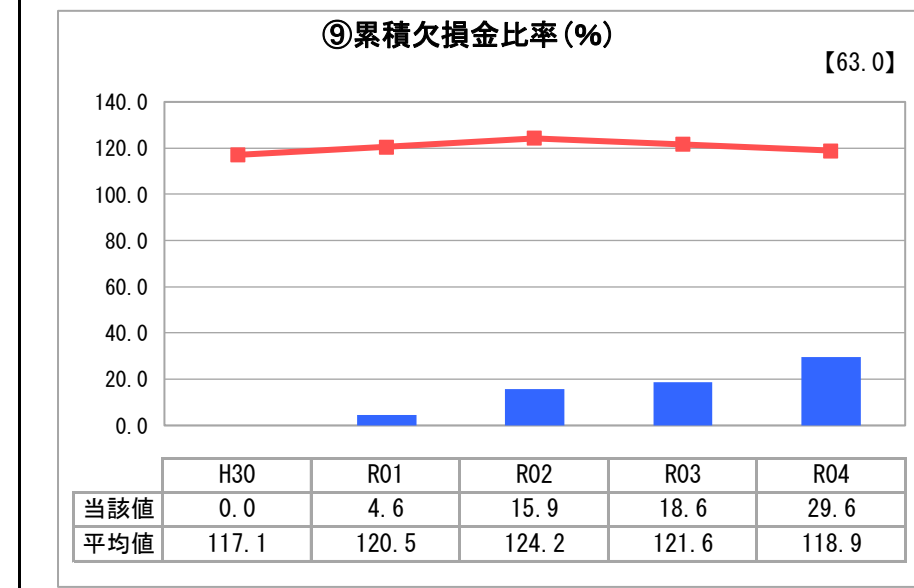
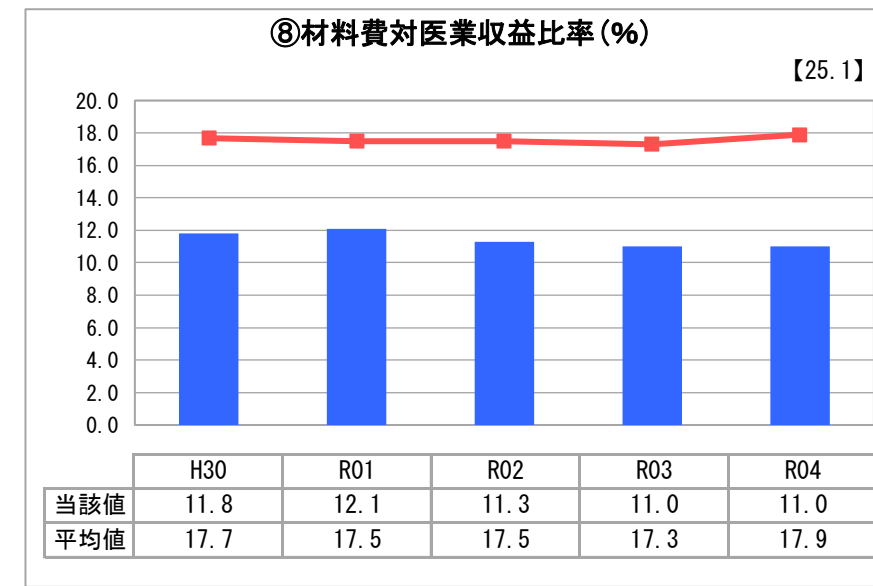
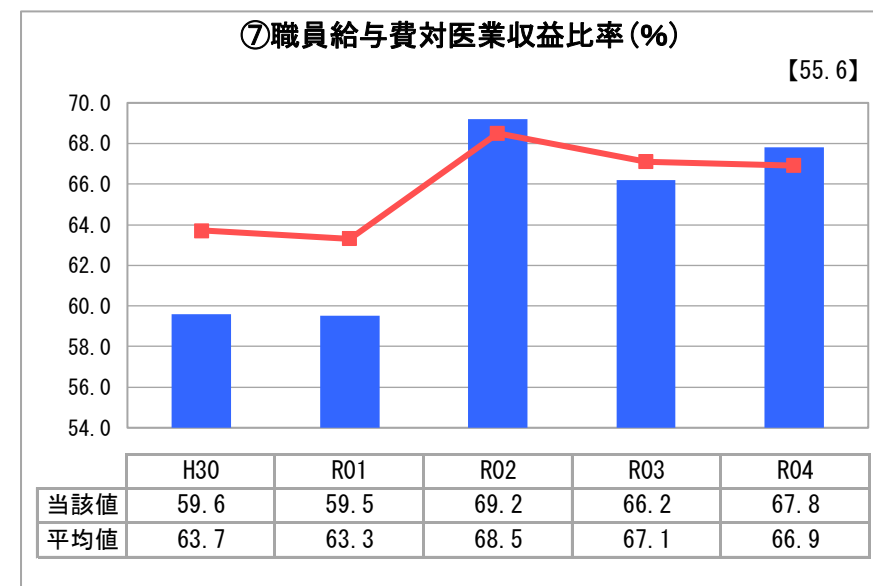
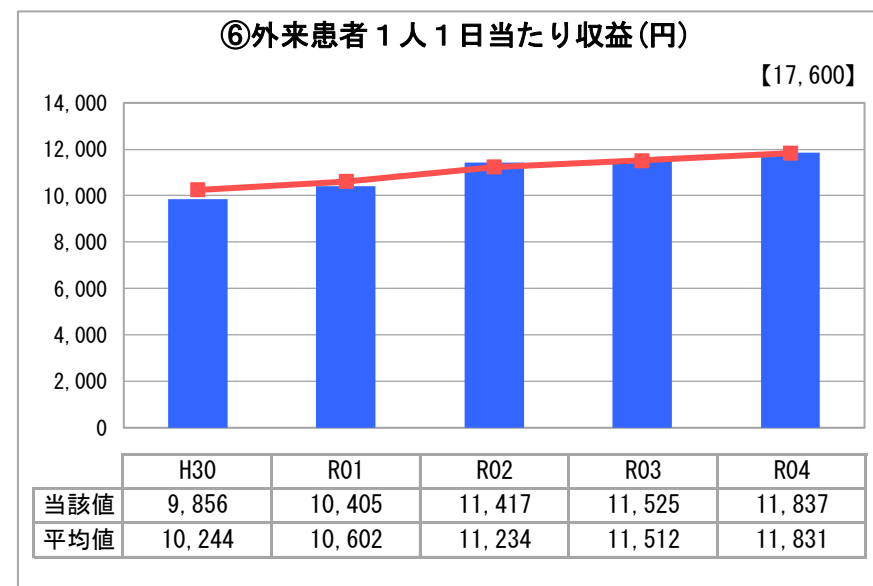
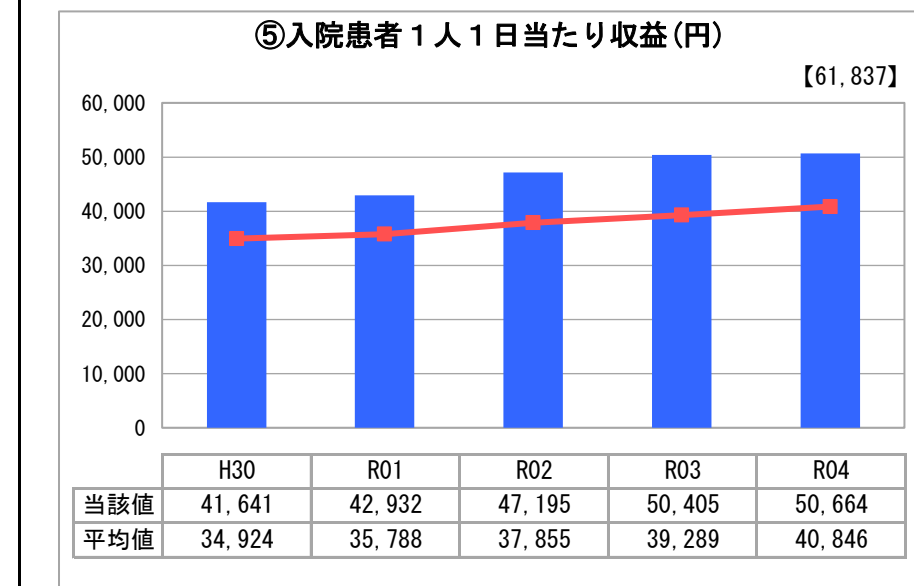
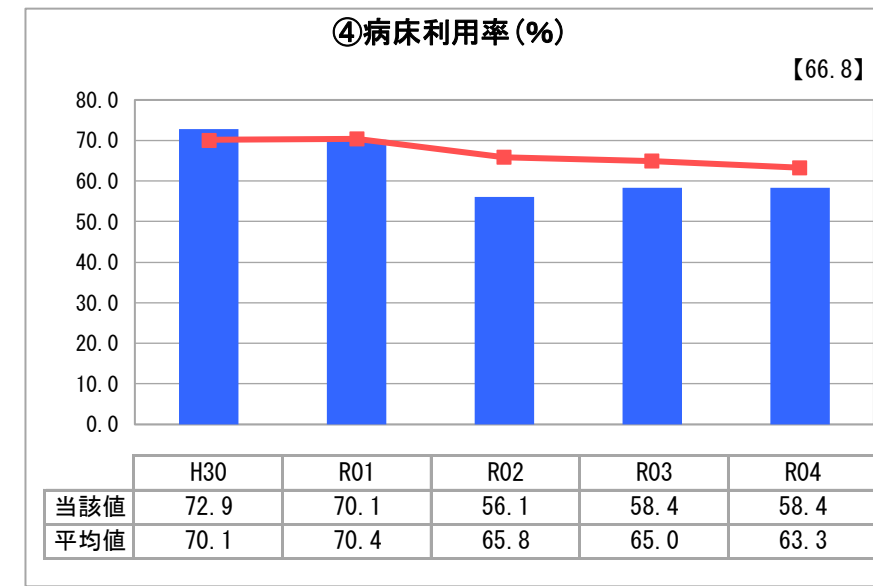
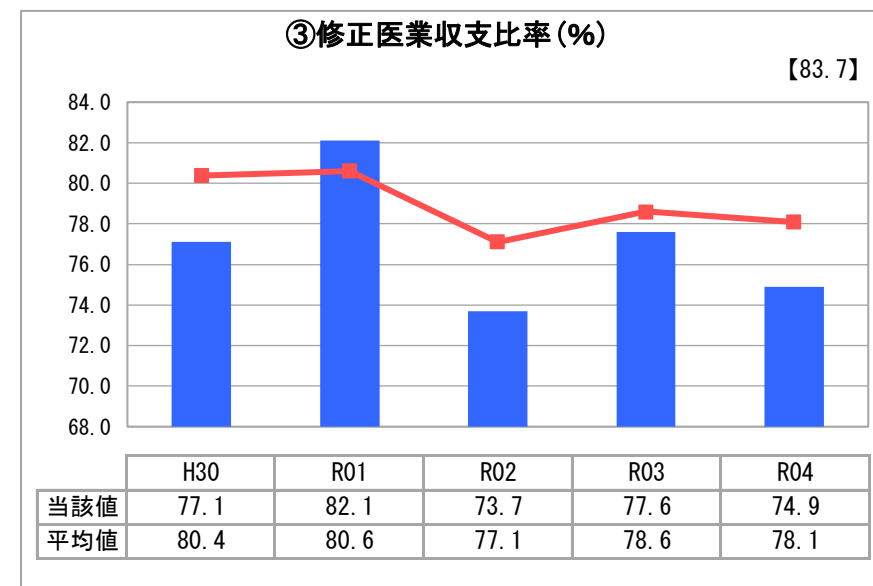
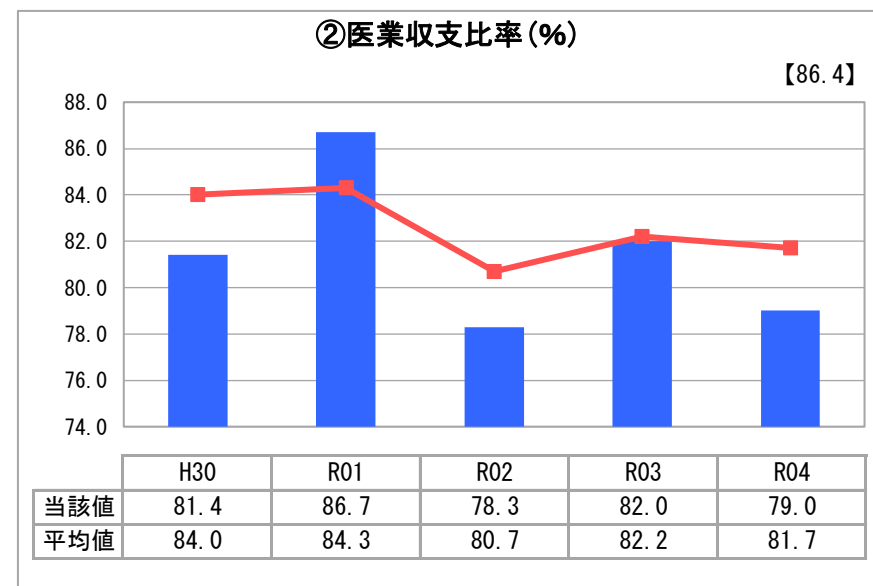
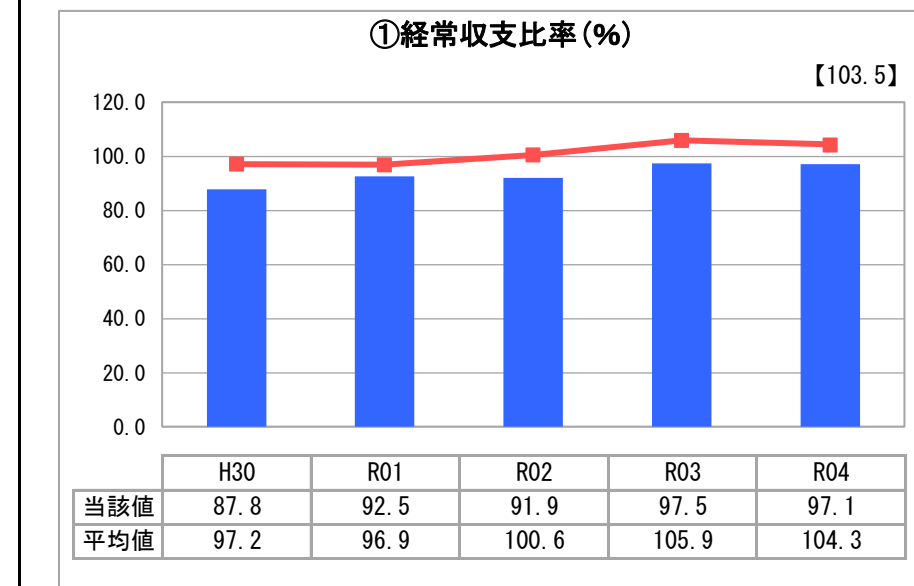
2. 老朽化の状況について

○有形固定資産減価償却率・器械備品減価償却率平成28年度の新病院完成と、それに伴う機器の更新により、資産の帳簿価額が増加しています。今後更新の必要な機器が増えてくることが予想されるため、計画的な更新を行っていきます。
 ○1床当たり有形固定資産平成28年度に新病院が完成したことにより、固定資産額が増額し、当該数値が類似病院平均値を上回っています。

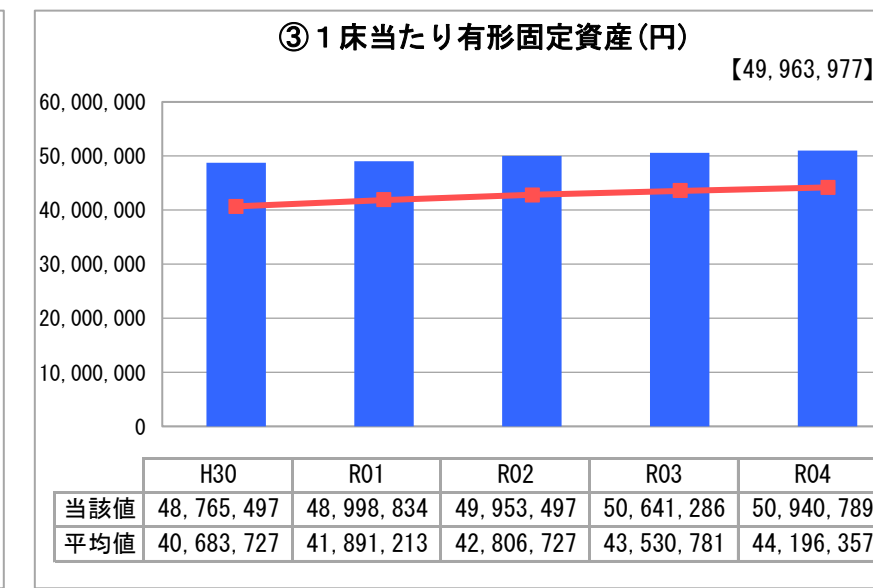
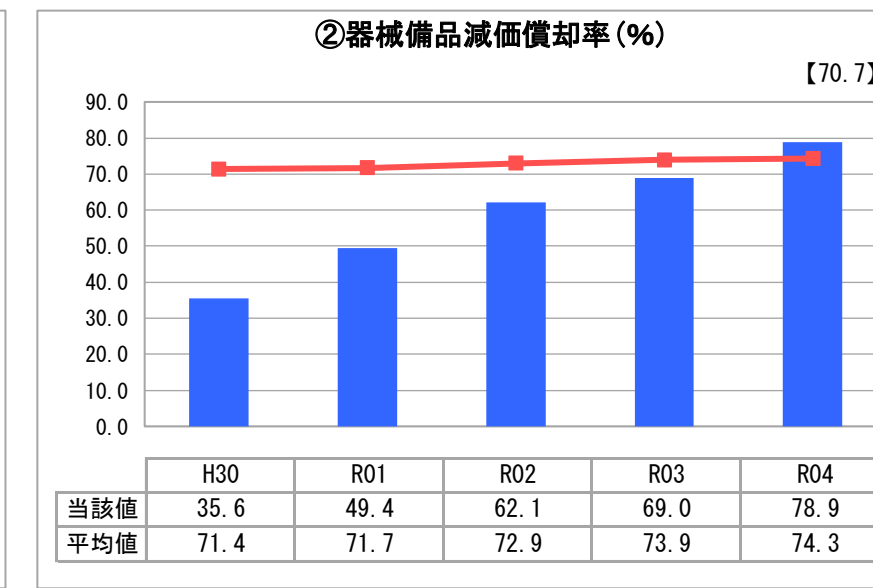
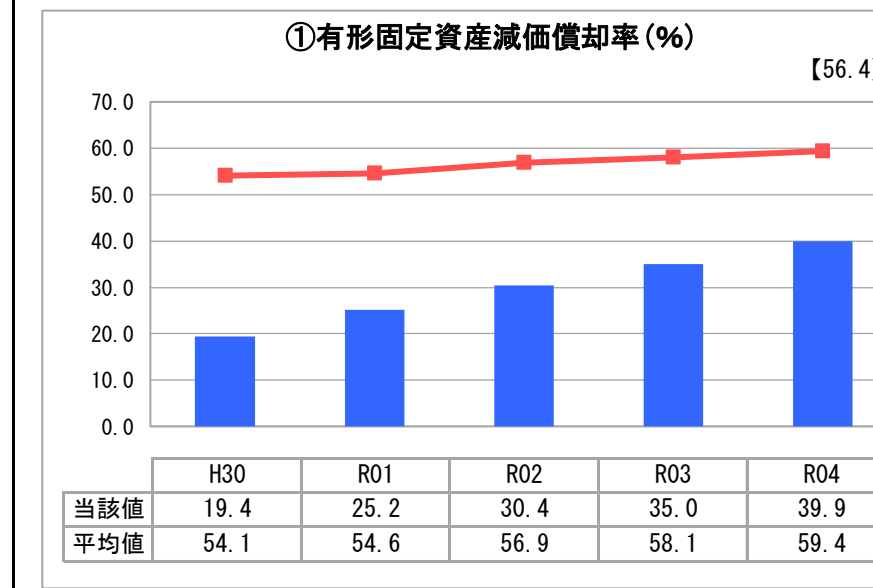
全体総括

平成28年11月に新病院が開院。その後、血液浄化センター、健康管理センターを開設。平成29年4月には産婦人科を開設し、市内で唯一出産可能な医療機関となる等、地域に密着した医療サービスの提供に努めています。
 経営状況は、新病院建設等による投資的経費の増加や新型コロナウイルス感染症による受診抑制などの影響で厳しい状況ではありますが、医師や看護師等の医療スタッフの充実・維持確保に努め、効率的な医療機器の活用・更新等を行い、近隣の医療機関と連携を取りながら、地域の中核的な医療機関として安定した医療が提供できるように努力してまいります。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和4年度決算）

岐阜県恵那市 国民健康保険上矢作病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救臨へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
47,564	3,238	第1種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
56	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	56
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
37	-	37

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- ・へき地における医療の提供
- ・へき地拠点病院として、市内の公立診療所への医師等派遣。
- ・救急医療の提供
- ・休日及び夜間における治療を必要とする救急患者の受入。
- ・地域医療を担う人材育成
- ・臨床研修協力施設として研修医、医療技術学生の研修受入指導の実施。
- ・地域包括医療
- ・住民が住み慣れた場所で安心して自立した生活ができるように医療の提供。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
新型コロナウイルス感染症の流行による規制緩和が期待される中で、引き続き入院患者の減少により収益が減少。
- ②医業収支比率
前年度より微減となった。この程度で揃えるよう引き続き維持する。
- ③病床利用率
新型コロナウイルス感染症の流行や人口の減少による影響で入院患者が減少している。引き続き状況を注視する。
- ④入院、外来患者1人1日当たり収益
入院患者については微増となるが、外来患者は減少した。類似病院平均値を上回っており引き続き維持する。
- ⑤職員給与費対医業収益比率
減少傾向にあったが、収益の減少により人件費の比率が増加した。
- ⑥材料費対医業収益比率
減少したが患者の減少による材料の費用が減少したことが要因。
- ⑦累積欠損金比率
新型コロナウイルス感染症の流行の影響により累積欠損金比率が増加傾向にあり、状況を注視する。

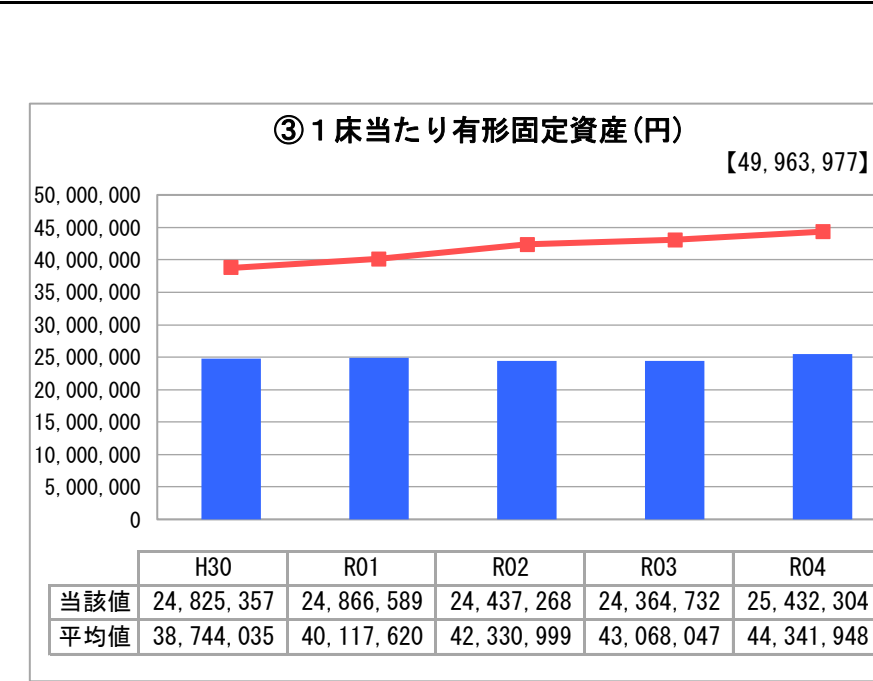
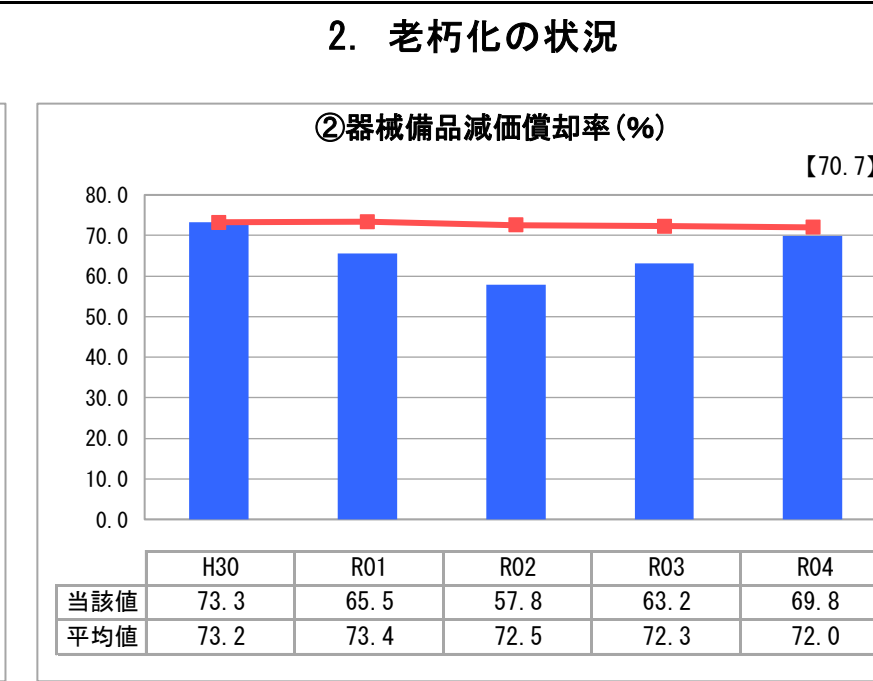
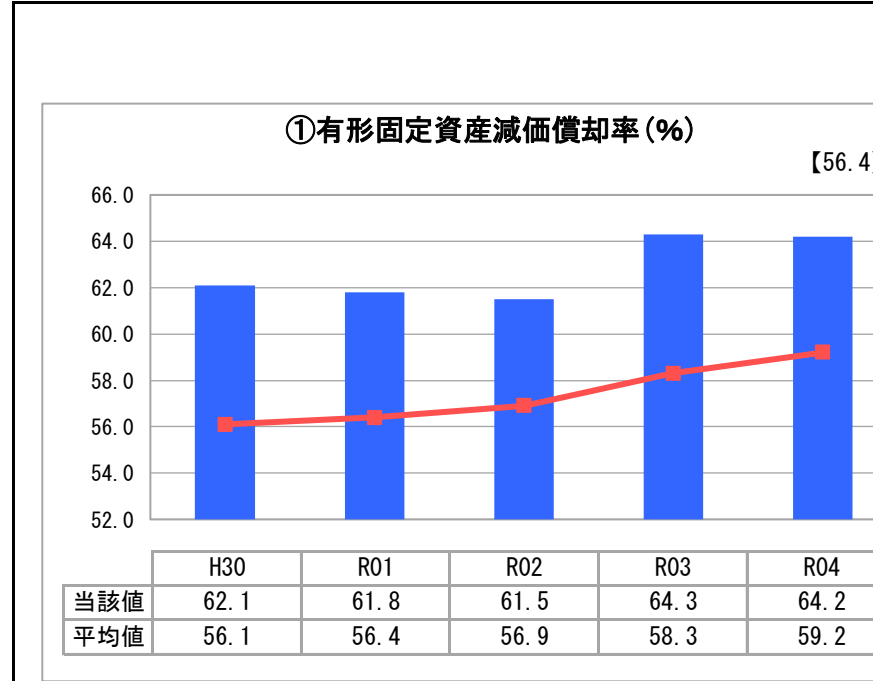
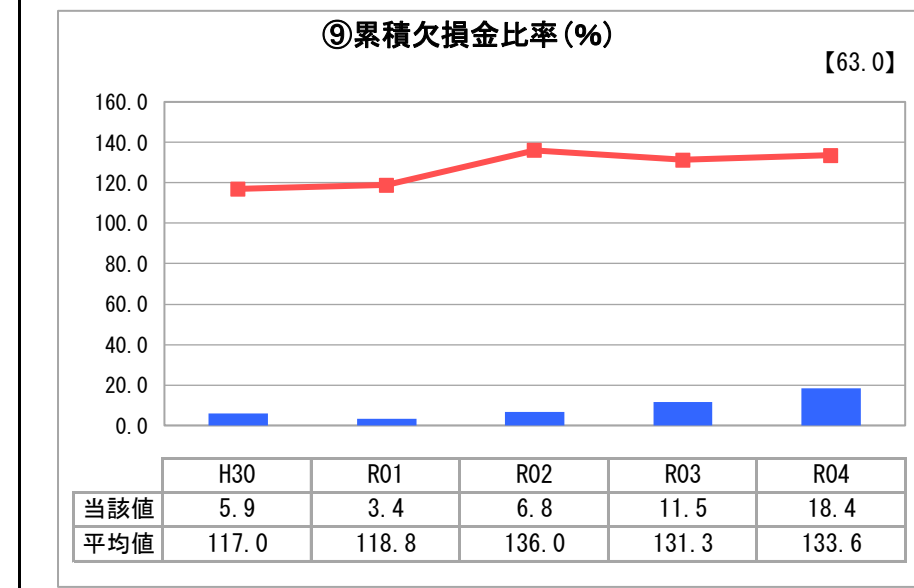
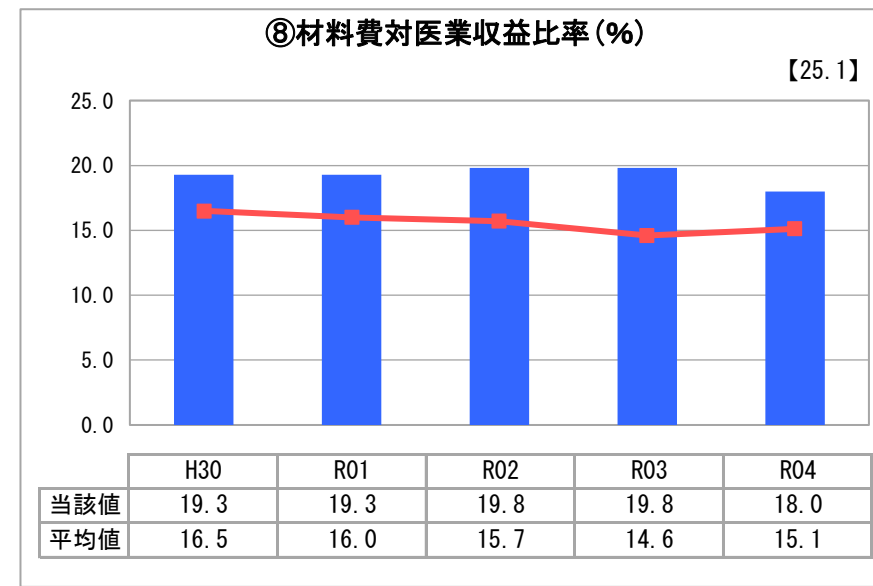
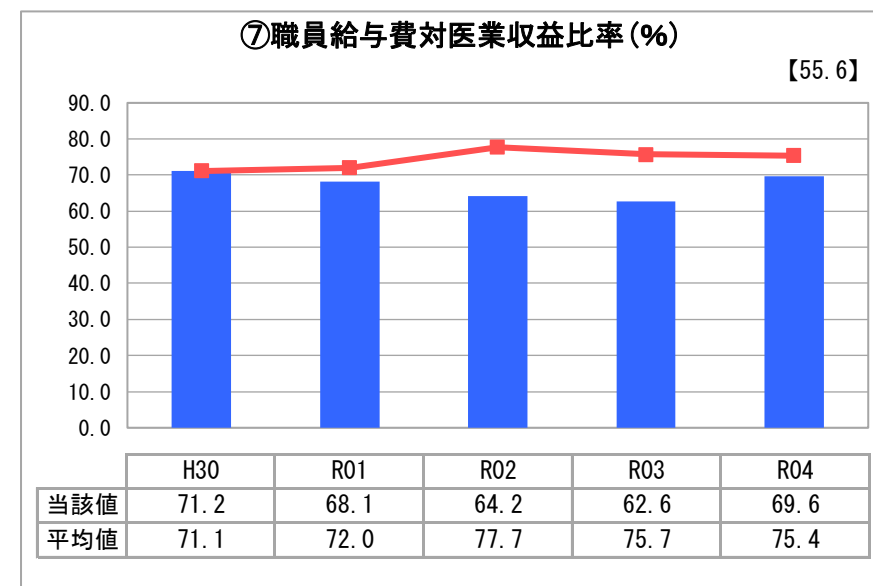
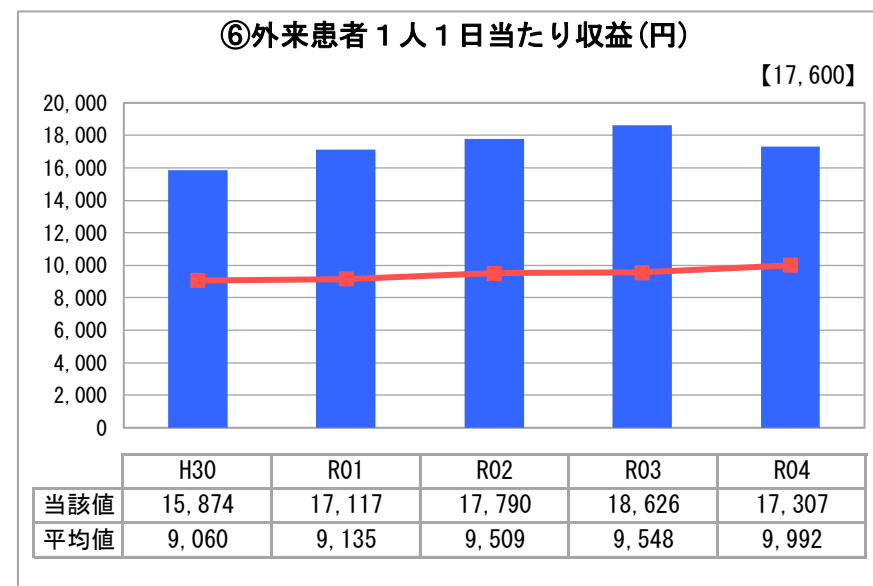
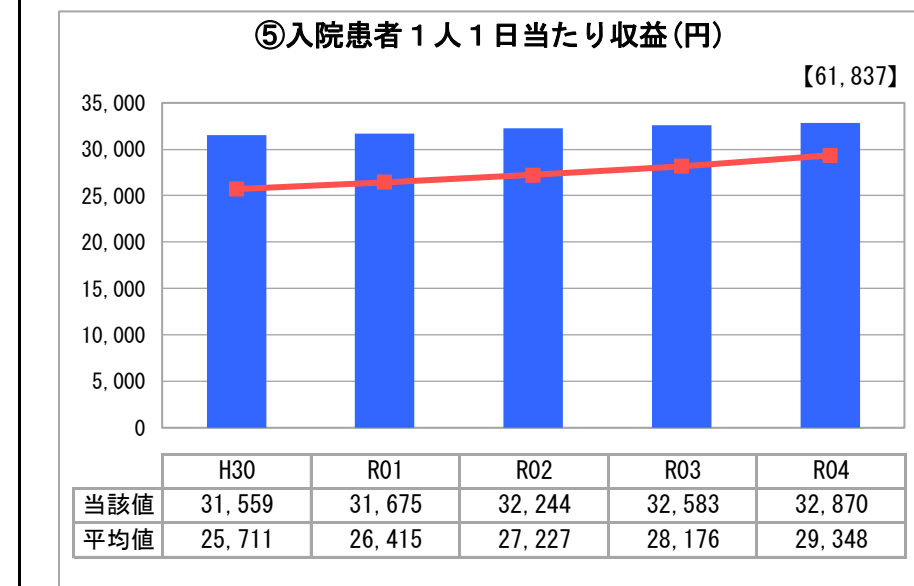
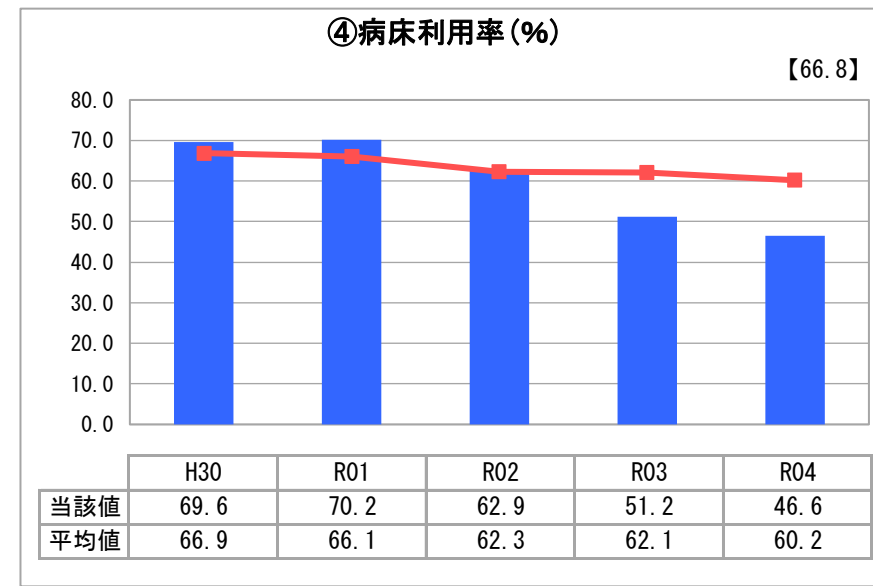
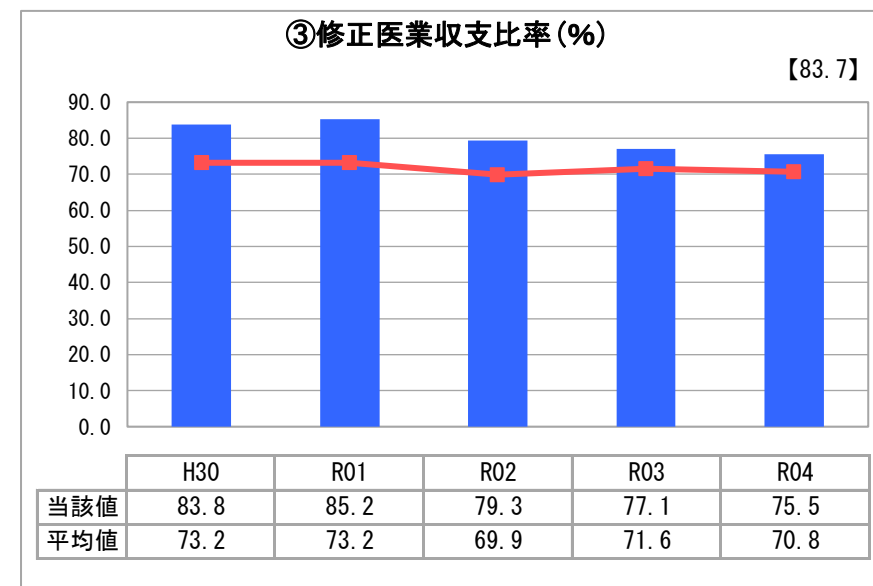
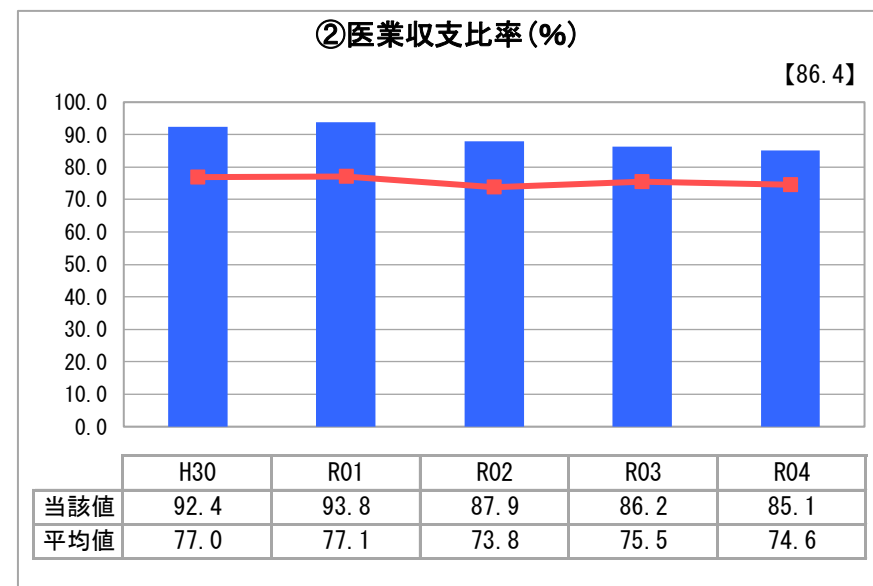
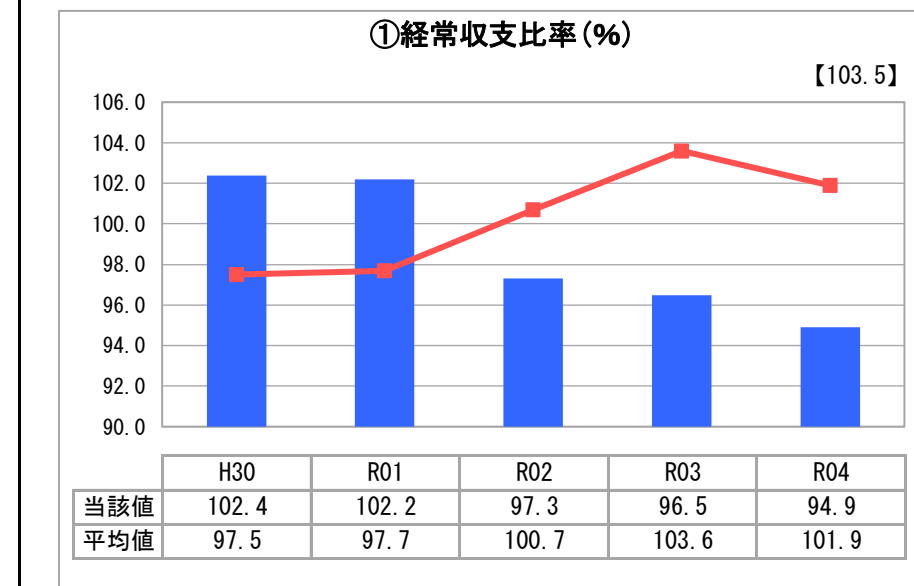
2. 老朽化の状況について

- ①②有形固定資産・器械備品減価償却率
建物や設備の老朽化が著しく類似団体平均値より上回っている。器械備品については類似団体平均値を下回っているが、いずれも償却率が高い。不可欠な器械備品は適宜更新はしているが、建物や設備の更新が大きな課題となっている。
- ③1床当たりの有形固定資産
類似団体平均値を下回っている。過大な投資を行わず、適切な更新等計画に基づき投資を行っていく。

全体総括

地域において担っている役割を達成しつつ、地域包括医療・ケアに邁進し健全な運営を行い、近年の経営比較分析表を参考に当院のおかれている状況を把握し運営等に反映します。
ただし、令和4年度では引き続き新型コロナウイルス感染症等の影響による経営状況の悪化が著しい結果となりました。そのような中でも健全な経営・運営を図りながら努力していきます。
また、施設の老朽化が大きな課題となっています。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。